

# 平成18年度 高冷地水稻生育速報(第1報)

岐阜県中山間農業研究所

## 1. 生育概況(6月6日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	19.1 (101%)	253 (214%)	3.5 (-0.7)	29.6 (-1.7)	4.5 (-0.6)
	前年	19.0	118	4.2	31.3	5.1
	平年	—	—	—	—	—
コシヒカリ	本年	22.7 (108%)	211 (207%)	3.4 (-0.7)	31.0 (-0.2)	4.5 (-0.5)
	前年	21.0	102	4.1	31.2	5.0
	平年	—	—	—	—	—
たかやまもち	本年	26.0 (135%)	202 (222%)	3.5 (-0.5)	29.7 (+2.1)	4.4 (-0.3)
	前年	19.3	91	4.0	27.6	4.7
	平年	—	—	—	—	—
ひだほまれ	本年	26.1 (120%)	167 (176%)	3.7 (-0.3)	33.0 (+0.8)	4.6 (-0.5)
	前年	21.7	95	4.0	32.2	5.1
	平年	—	—	—	—	—

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m<sup>2</sup> 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a  
( )内の数値は対前年値

## 2. 生育状況と当面の管理

### 1) 生育状況

気温は平年並～高めで推移しているが、移植後の日照時間が短かったためか生育は緩慢である。  
草丈はやや徒長気味となっている。分けつは前年の同時期に比べれば多いものの、分けつの開始が遅れたため茎数は少ない。また、いずれの品種も葉色が薄く、葉齢が進んでいない。

### 2) 病虫害等の発生状況

イネミズゾウムシが5月下旬から飛び込んできており、葉の食害が見られる。  
ノビエ、ホタルイ等の水田雑草が急速に発生し始めており、代かき時の初期除草剤を使用しなかったほ場で多く発生している。

### 3) 今後の管理

田植え後の初期生育は芳しくないが、「分けつ肥」等の追肥は控えること。特に「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」では、生育過剰となり倒伏やいもち病の原因となるので厳禁。

梅雨に入る前に早期中干しを実施したい。いったん落水し田面にわずかにヒビが入るまで2～3日干して、田面をある程度硬くし、土壌中のガス抜きを行う。その後の水管理は間断灌水とする。

岐阜県中山間農業研究所  
TEL 0577-73-2029  
FAX 0577-73-2751  
<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/k-agri/>